

2023～	社会福祉学研究演習Ⅰ	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1年
		担当教員	大島 巖・三浦 剛・阿部裕二・加藤伸司・高橋誠一・田中治和・田中 尚・都筑光一・秋野寛雄・石附 敬・菅原好秀・竹之内章代	

※この科目は、2023年度以降入学者に対して開講されている科目です。2022年度以前入学者は履修できません。

■授業のテーマ

自身の専攻する分野の修士論文研究の基礎を学ぶ。

■授業の目的

自身の修士論文デザイン（研究計画書）の作成や、ゼミ内での議論などから、修士論文研究の基礎を身につける。

■授業の到達目標

- ・自身の修士論文研究をデザインすることができ、「論文指導」と連動して学位請求論文構想発表会で発表を行う事ができる。
- ・研究倫理を理解し、指導教員の指導により、必要に応じ、大学院研究倫理審査を受けることができる。
- ・指導教員の指導により、研究を進めることができる。

■授業の概要

- ・「修士論文研究計画法概論」受講後、専門分野の指導教員から論文のデザインについて学ぶ。
- ・指導教員の指導により、また、報告や他の受講生との討論を通じ、修士論文研究を進めていく。
- ・「論文指導」と連動し、参加した中間報告会や学位請求論文構想発表会などでの議論の要点を確認し、自らの研究に反映させる。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	「修士論文研究計画法概論」のふり返り	論文デザイン	自身の研究分野を明確にした上で、「修士論文研究計画法概論」をふり返り、必要があれば加筆修正をおこなう
2	自身の研究分野の研究の状況を知る①	先行研究のレビュー	文献検索、収集の方法を学ぶ
3	自身の研究分野の研究の状況を知る②	先行研究のレビュー	収集した文献の整理法を学ぶ
4	自身の研究分野の研究の状況を知る③	先行研究のレビュー	ゼミでの報告の準備をおこなう
5	研究倫理について学ぶ①	研究倫理、個人情報の保護	Eラーニングなども利用しながら、研究倫理全般、特に個人情報の保護、人権への配慮について学ぶ
6	研究倫理について学ぶ②	著作権、論文執筆要領	著作権法について学び、先行研究の扱い方、出典明示の方法などについて、各学会の論文執筆要領なども参考に学ぶ
7	研究倫理について学ぶ③	研究倫理審査申請書	大学院研究倫理審査のしくみを学び、手続きや書式など、ガイドブックも参考に学ぶ
8	研究の背景・テーマ設定の理由について①	先行研究のレビュー	1-4でおこなった学修を、研究の背景、テーマ設定の理由として文章化する
9	研究の背景・テーマ設定の理由について②	先行研究のレビュー、キーワード、用語の定義	1-4でおこなった学修からキーワードなどの操作的定義をおこなう
10	研究の背景・テーマ設定の理由について③	先行研究のレビュー、キーワード、用語の定義	ゼミでの報告の準備をおこなう

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
11	研究の目的について①	研究の目的	研究の目的について、研究の背景との整合性を確認し、文章化する
12	研究の目的について②	研究の目的	ゼミでの報告の準備をおこなう
13	他の修士論文の検討①		中間報告会に出席し、学んだことを整理する
14	他の修士論文の検討②		学位請求論文最終報告会に出席し、学んだことを整理する
15	他の修士論文の検討③		ゼミでの報告の準備をおこなう

■スクーリング事前学修（予習）(学修時間目安：35時間)

研究演習の中での報告レジュメの作成を事前学修に充てる。報告の内容や回数、提出の時期等は各演習で決定する。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	(各研究分野の) 研究のデザインについて	オンデマンド
2	他の研究の検討（中間報告会出席による）	対面 or 同時双方向
3	先行研究レビューについて文献検索、収集の方法、文献の整理法	オンデマンド
4	学位請求論文構想発表会の予行と担当教員による指導	対面 or 同時双方向
5	研究の背景、テーマ設定の理由、用語の定義（操作的定義の方法）について	オンデマンド
6	研究の目的について	オンデマンド
7	ここまでのまとめと他の研究の検討（第2回中間報告会出席による）	対面 or 同時双方向
8	まとめと他の研究の検討（最終報告会出席による）	対面 or 同時双方向

■課題（復習）(学修時間目安：20時間)

3回目まで、6回目までで学修した自身の研究について文章化する。

■提出課題

課題 1	先行研究のレビューの意義について（3回目受講後に提出）
課題 2	研究の背景から、目的、方法までの整合性について（6回目受講後に提出）

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

自身の研究、演習（ゼミ）の中での報告に照らして、具体的に考えましょう。

課題 1
アドバイス

報告会などへの参加で他の研究を検討した結果も併せて考えましょう。

課題 2
アドバイス

■評価の方法・基準

- ・スクーリング事前学修（予習）(25%)
- ・スクーリングの出席と関与の度合い（50%）
- ・提出課題（25%）

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

※大学から送付される必読図書はありません。

※指導教員から指示されます。